

クリスマス祭・終業式 (2024.12.21)

ミッションスクールである本校では、二学期の終業式に先がけてクリスマス祭を行い、キリストの誕生をお祝いします。今年は特に内容が豊富で、大いに盛り上がりました。

本校ヨセフホールに中1から高3までの生徒、教員が集まり、クリスマス祭が始まります。

まず高2生徒のバイオリンとビューグラーズ（吹奏楽部）のハンドベルの合奏、中高生徒会長による聖書朗読、クリスマスキャロル斉唱が行われました。続いてはロザリオ会（キリストの教えを学ぶ文化部）によるキリスト誕生をテーマにした聖劇です。ストーリーは「ロザリオ会員がタイムスリップしてキリストの誕生に立ち会う」というもので、部員、特に大天使役の熱演に会場が沸きました。

次に高1生徒3名による、本校が大切にしている「信頼・隣人愛・奉仕の心」をテーマとしたオリジナル曲の歌唱があり、その熱唱に多くの拍手が送られました。

続いて今年度のクリスマスバスケットバザーの報告会があり、今年の実績や寄付の届け先の説明、バザーアンケートの集計結果の紹介、写真構成による今年の活動報告、来年度実行委員長のあいさつが行われました。パワーポイントを駆使した高校生のプレゼンテーションは堂々たるもので、バザーにかける思いが真っ直ぐに伝わり、多くの後輩にバザーの大切さを語り継ぐと共に、中学生にロールモデルを提供する役割も果たしていたと思います。壇上の先輩を客席で見ている大勢の後輩たちが、きっと後に続くことでしょう。

ついでビューグラーズ(吹奏楽部)の演奏にグリークラブ、校長先生以下教員有志8名が参加して、場を大いに盛り上げました。

そして校長先生からはクリスマスにからめて、どのような生き方を目指すべきかというメッセージが届けられ、ついで校長先生の故郷であるメキシコのクリスマスの風習「ピニャータ」が紹介されました。これは日本のくす玉を派手にしたようなもので、中にお菓子やプレゼントを詰めておき、このピニャータをスイカ割りのような要領で壊して中身を分け合うことになっているそうです。説明の後、舞台の上から校長先生手作りの巨大なピニャータが現れ、抽選で指名された中1～高3の代表生徒6名とその担任の先生が壇上に上がって順番にこれを壊しました。生徒は竹刀を振り回して壊そうとしますが、目隠しをせねばならない上に、天井から紐で吊されているピニャータが上がったり下がったりするものですから、なかなか当たりません。代表の一挙一動に会場は沸き、打ちやすいところまでピニャータが下りてくると「もう一歩!」「今だ!」「行け!」「打て!」と会場中から声が上がりました。さらに、ピニャータが完全に壊されると中からたくさんのボールが出てきましたが、その中に一つだけ校長先生のサインが入ったものがあり、それをつかんだ生徒の学年全員にプレゼントがあるということで、その争奪戦にも客席から熱狂的な声援が送られます。中3代表がサインボールを確保すると、中3からは万雷の拍手と足踏みが起こり、会場全体がそれはそれは盛り上がりました。

熱狂の余韻覚めやらぬ中、校長先生やブラザーの先生方が手作りのムービーが流されます。それはメキシコのクリスマスソングを各学年の先生方や職員の皆さんが歌い、間に今年のような学校行事の映像が挟まれたもので、今年の締めくくりにふさわしい、感動的な動画でした。この制作にも大いに手間がかかっており、参加者一同から大きな拍手が送られました。

最後に全員で「ジングルベル」を斉唱して、クリスマス祭が終わりました。

聖書朗読やキャロル斉唱、ビューグラーズの演奏やグリークラブの歌唱、聖劇やバザー報告は恒例のものですが、それに加えて、ブラザーの先生方が工夫をこらした企画を毎年準備されます。それが今年は特に盛りだくさんで、ピニャータは今回初登場でしたが、参加者全員がこれに注目し、舞台上の代表に盛んに声援を送って盛り上がり、ラ・サールファミリーとしての一体感が強く感じられたひとときでした。

その後小休止を挟んで終業式が行われました。さまざまな部活動が各方面で活躍したため、賞状がのべ数十人に伝達され、生活指導部長から簡潔にお話があって、8時半から始まったクリスマス祭・終業式は午前11時頃に終わりました。その後各クラスで終礼を行って、生徒たちは元気に全国へ帰っていきました。



1段目 バイオリンとハンドベルの演奏

2段目 聖劇

3段目 左 高校1年生の歌唱
右 キャロル斉唱

4段目 バザー報告 実行委員長あいさつ



- 1段目 ビューグラーズ・教員バンド演奏
- 2段目 左 ビューグラーズとグリークラブ
による合同パフォーマンス
右 クリスマス祭のプログラム
- 3段目 目隠ししてピニャータに挑む中1生徒
- 4段目 左 中3代表に賞品プレゼント
右 企画したブラザーの先生方

